

2011年8月7日(日)～9日(火) 福島、東京 潘基文国連事務総長訪日



会談で握手を交わす潘基文国連事務総長(左)と菅直人首相。

(代表撮影/ロイター/アフロ)

潘基文国連事務総長は福島を訪問し、被災者の方々に連帯の意を表しました。その後、潘事務総長は菅総理大臣を表敬し、松本外務大臣と会談等を行いました。東日本大震災から得た教訓、原子力安全についての意見交換に加えて、軍縮・不拡散、PKO、防災、地球環境等のグローバルな課題について意見交換を行いました。

<参照>外務省HP: 潘基文国連事務総長の訪日

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/jp_un/rainichi_sg_1108.html

2011年8月22日(月)～24日(水) 東京 バイデン米副大統領訪日



津波の被害が最も大きかった都市の一つである名取市の仮設住宅を訪問し、被災された方々を激励するバイデン米副大統領(写真中央左)。

(AP/アフロ)

菅総理との会談ではバイデン米副大統領が東日本大震災のお見舞いを述べ、菅首相は米国の支援に改めて感謝の意を表しました。その後、経済、安全保障、震災復興、文化・人材交流について日米の協力を確認し、アジア太平洋地域情勢について話し合いが持たれました。

<参照>外務省HP: 菅総理とバイデン米副大統領の会談(概要)

http://www.mofa.go.jp/mofaj/kaidan/s_kan/usa_110823.html